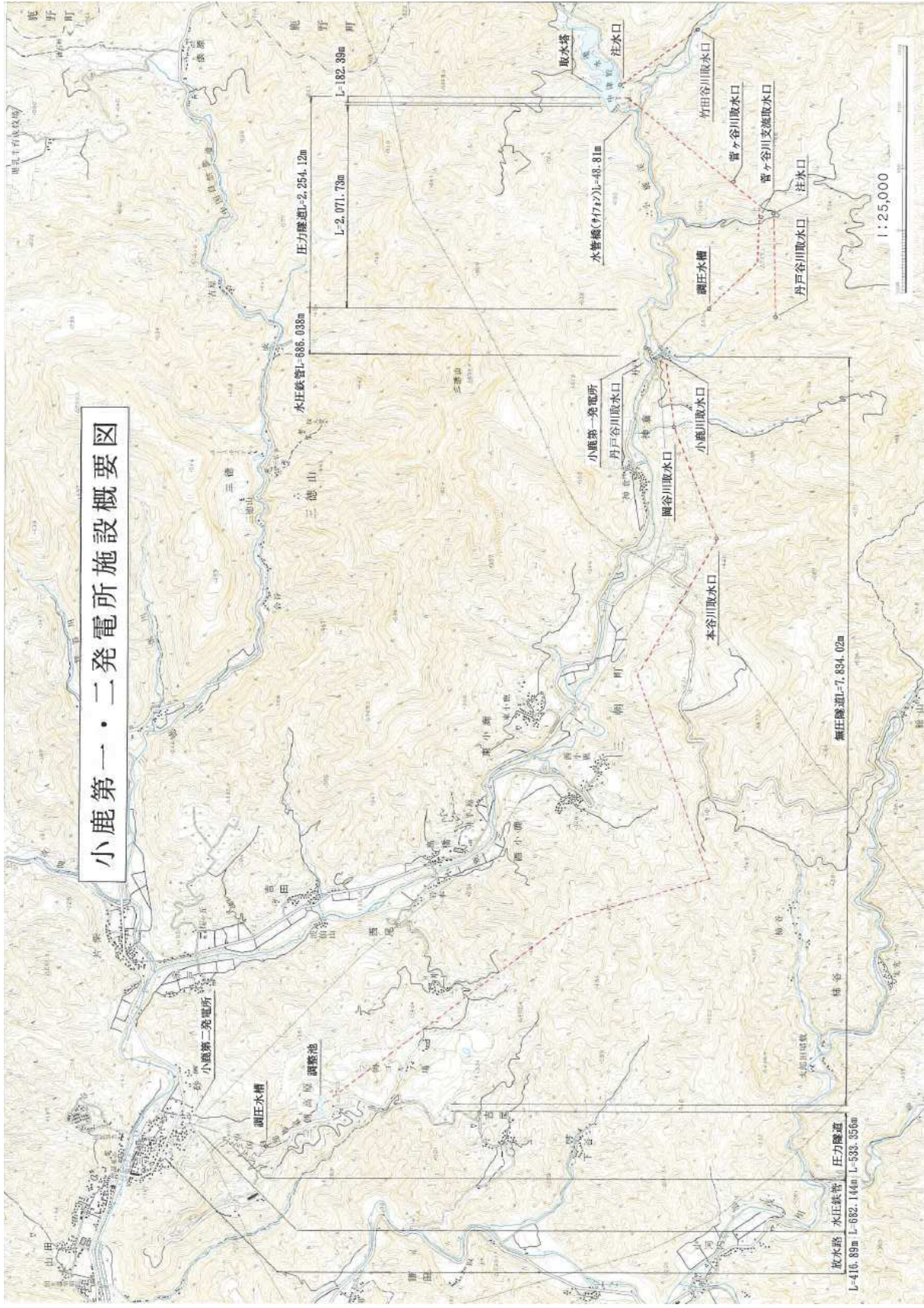




別添 参考資料

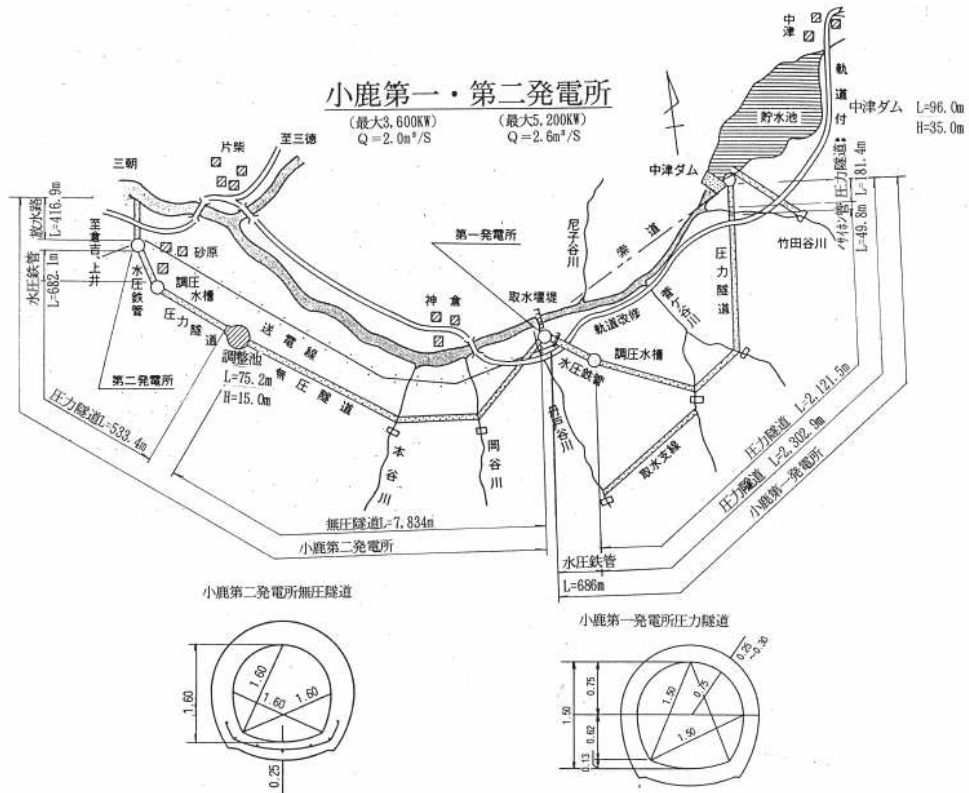
(1) 対象3施設概要

小鹿第一発電所・小鹿第二発電所 施設位置図



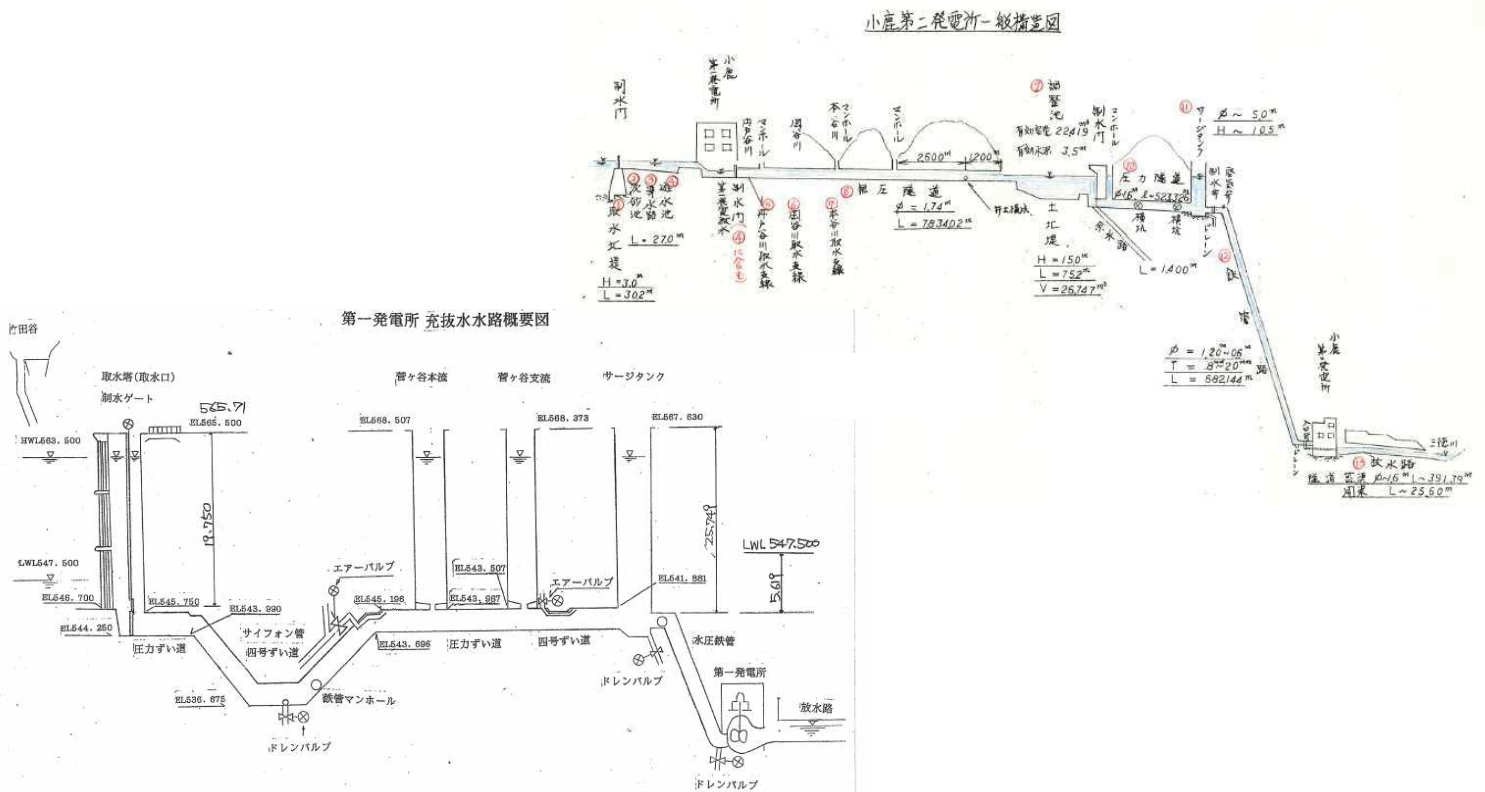
(1) 対象3施設概要

小鹿第一発電所・小鹿第二発電所 施設概要図①



(1) 対象3施設概要

小鹿第一発電所・小鹿第二発電所 施設概要図②



(1) 対象3 施設概要

中津ダム



種類 利水ダム (発電用)
 型式 重力式コンクリートダム
 堤高 35.00m
 堤頂長 96.00m
 利用水深 16.00m
 湛水面積 147,850 m²
 総貯水量 1,375,270 m³
 有効貯水量 1,210,610 m³

(1) 対象3 施設概要

① 小鹿第一発電所

項目	内容
最大出力	3,600 kW
運転開始時期	昭和32年10月
発電所形式 水車形式	ダム水路式 フランシス水車立軸 単輪単流渦巻型
最大使用水量	2.0m ³ /s
可能発電電力量	16,493MWh
売電電力量 (平成28年度実績)	14,110MWh
電力収入 (平成28年度実績 概算値)	146百万円
設備利用率 (平成28年度実績)	52.3%
ランニングコスト (平成29年度見込み 概算値)	113百万円



名称	中津ダム
管理者	鳥取県企業局
目的用途	発電専用ダム

※ランニングコストに減価償却費、除却損、売却損、過年度修正損、支払利息は含まれない
 ※問題なく発電していたときの発電量に、故障など事故で発電した際の流況などを考慮して正常に発電していたと想定する発電電力量(溢水電力量)を加えたもの

(1) 対象3施設概要

①小鹿第一発電所

■ 利水状況・水系及びダム関係

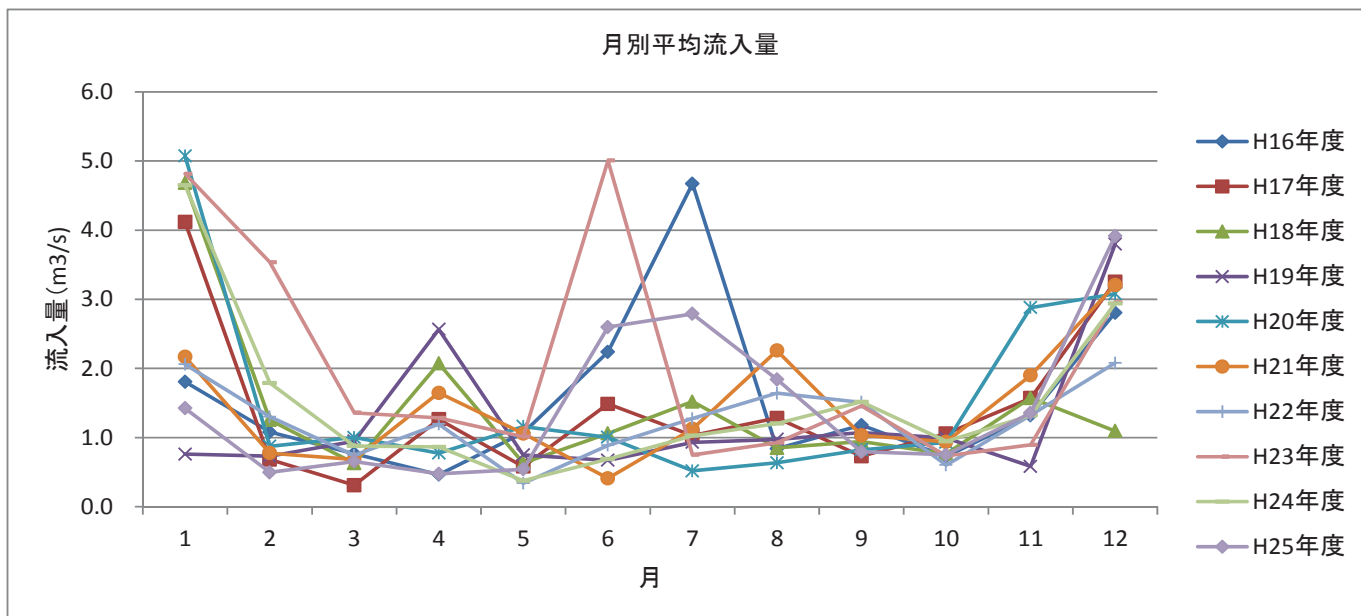
小鹿第一発電所は、小鹿川本川に設置された中津ダムの他、計4箇所より取水を行っている。各取水設備の概要は以下の通りである。

名称	中津ダム	竹田谷川取水ダム	菅ヶ谷川取水ダム	菅ヶ谷川支流取水ダム	丹戸谷川取水ダム
流域面積	9.90km ²	4.30km ²	2.70km ²	0.67km ²	1.63km ²
最大取水量	2.00m ³ /s	1.62m ³ /s	1.15m ³ /s	0.73m ³ /s	0.61m ³ /s
種類	重力式コンクリート	溢流型コンクリート	溢流型コンクリート	溢流型練積	溢流型練積
頂長	96.00m	21.00m	7.90m	17.00m	13.00m
高さ	35.03m	5.60m	2.50m	4.80m	3.50m
可動堰種別	鳥居式テンターゲート	—	—	—	—
可動堰 大きさ及び数	径間6.00m 扉高4.50m 1門	—	—	—	—
可動堰 捲揚機	両端ドラムワイヤー ロープ捲取式、 電動捲揚機1台	—	—	—	—
土砂吐水門	幅1.00m、高1.00m(上半円)鋼製高圧スライドゲート1門	幅0.85m、高さ1.50m(木製)	幅1.00m、高さ1.15m(木製)	幅0.60m、高さ0.60m(木製)	幅1.00m、高さ1.05m(木製)
土砂吐水門捲揚機	電動スピンドル回転式	スピンドル手動式	スピンドル手動式	角落し	スピンドル手動式
計画洪水量	100.48m ³ /s	—	—	—	—

(1) 対象3施設概要

①小鹿第一発電所

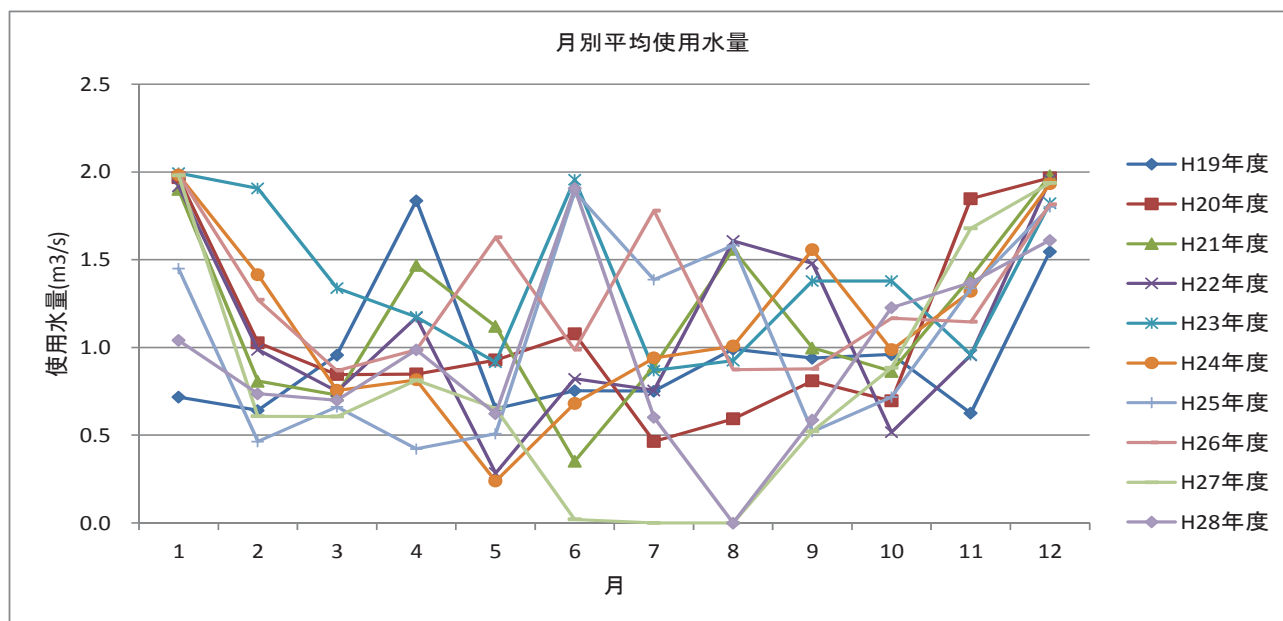
月別平均流入量（中津ダム）



(1) 対象3施設概要

①小鹿第一発電所

月別平均使用水量 (小鹿第一発電所)



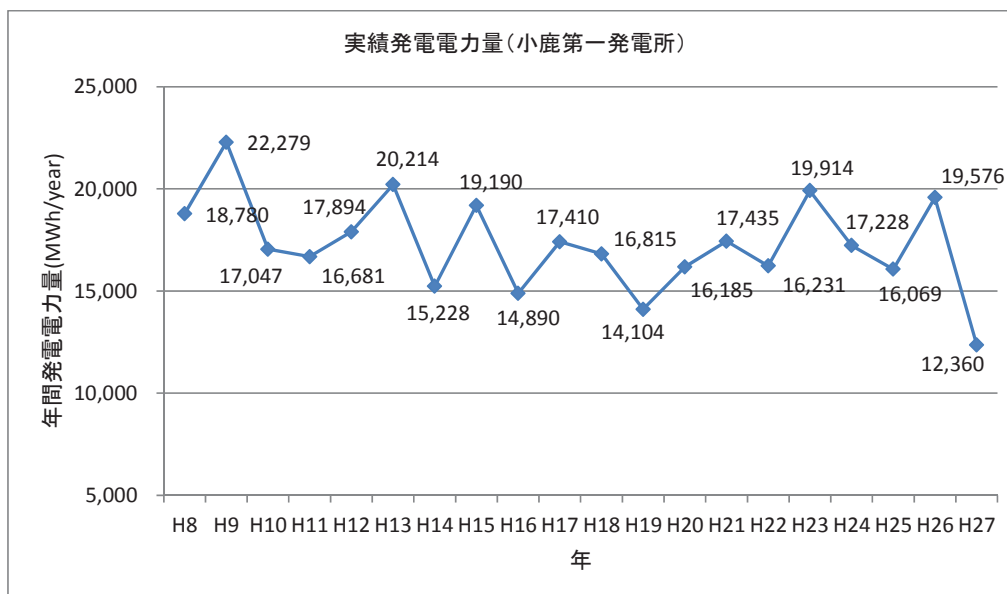
(1) 対象3施設概要

①小鹿第一発電所

■発電実績

小鹿第一発電所の過去20年間の実績発電電力量及び受給電力量を以下に示す。これより、小鹿第一発電所は実績発電電力量で平均17,277MWh/年、受給電力量で平均16,993MWh/年の発電実績を有する。

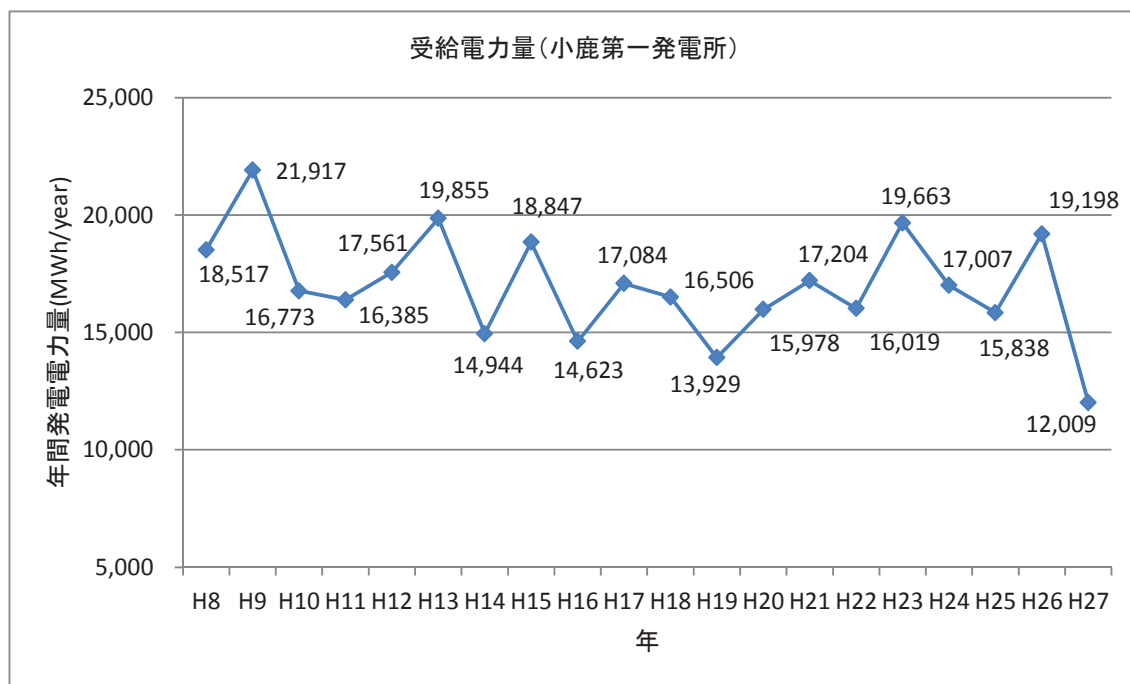
実績発電電力量



(1) 対象3施設概要

①小鹿第一発電所

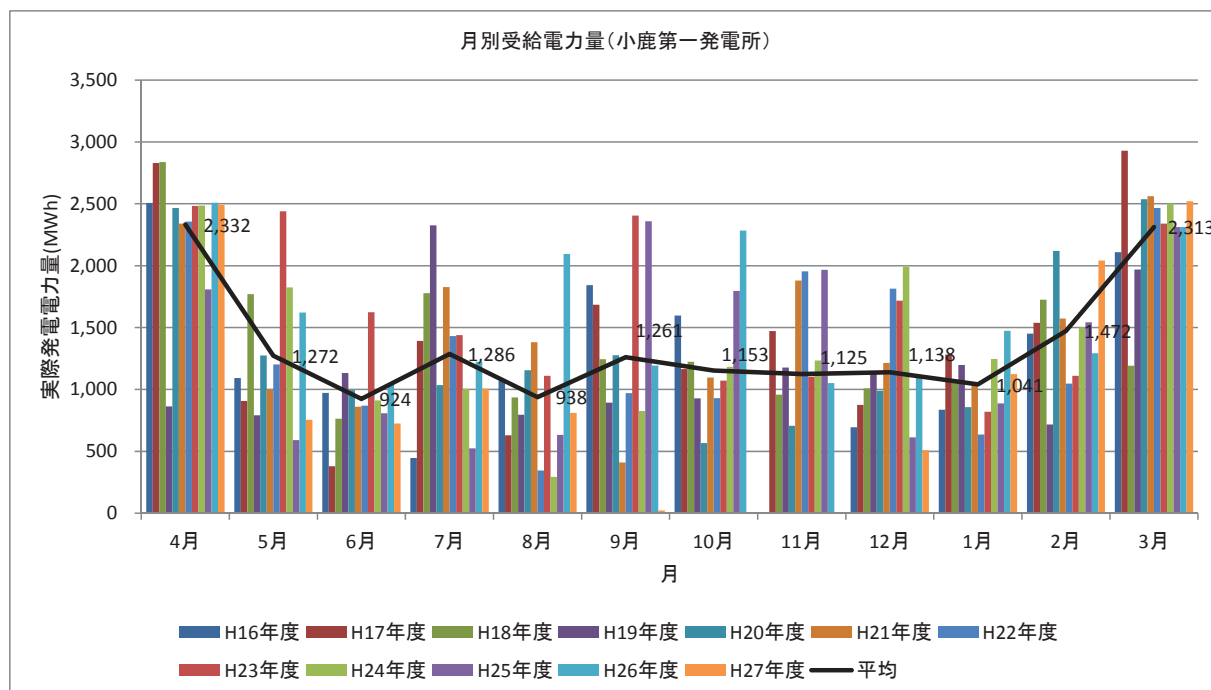
受給電力量（小鹿第一発電所）



(1) 対象3施設概要

①小鹿第一発電所

月別の受給電力量の推移（平成16年度～平成27年度）



(1) 対象3施設概要

②小鹿第二発電所

項目	内容
最大出力	5,200 kW
運転開始時期	昭和33年4月
発電所形式 水車形式	ダム水路式 フランス式水車立軸 単輪単流渦巻型
最大使用水量	2.72 (2.60)m ³ /s
可能発電電力量	24,835 MW h
売電電力量 (平成28年度実績)	20,498 MW h
電力収入 (平成28年度実績 概算値)	212百万円
設備利用率 (平成28年度実績)	54.5%
ランニングコスト (平成29年度見込み 概算値)	163百万円



名称	三朝調整池
管理者	鳥取県企業局
目的用途	発電専用ダム

※ランニングコストに減価償却費、除却損、売却損、過年度修正損、支払利息は含まれない
 ※問題なく発電していたときの発電量に、故障など事故で停電した際の流況などを考慮して正常に発電していたと想定する発電電力量(溢水電力量)を加えたもの

(1) 対象3施設概要

②小鹿第二発電所

■ 利水状況・水系及びダム関係

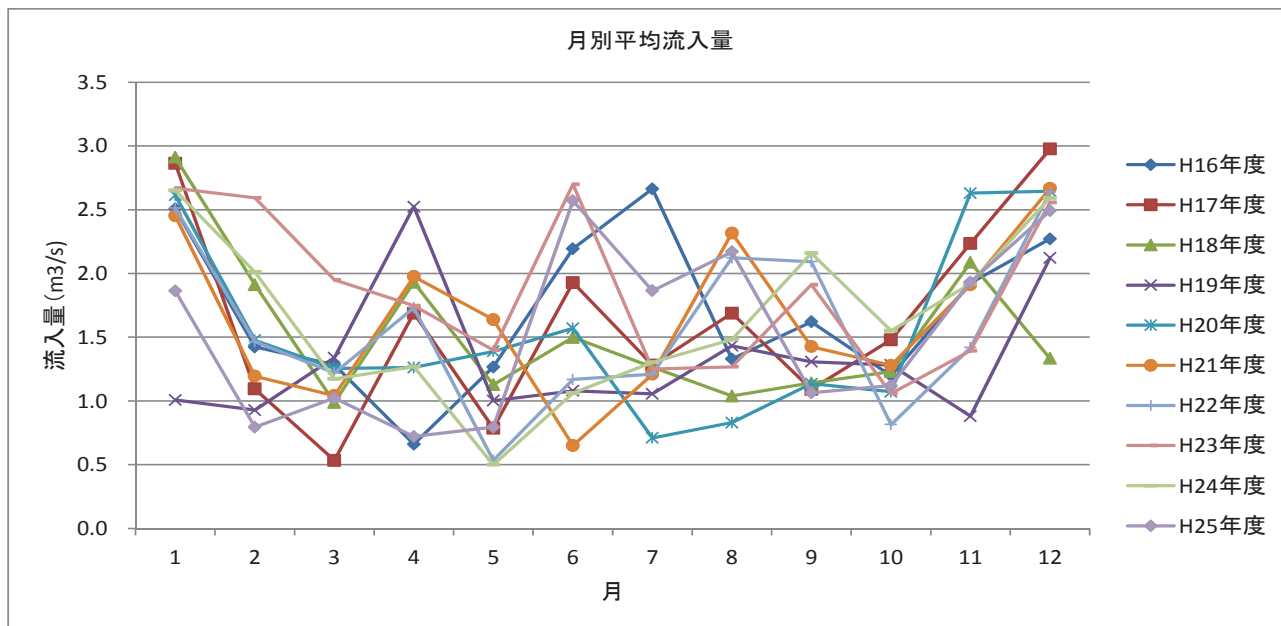
小鹿第二発電所は、小鹿川本川に設置された小鹿川取水ダムと導水路トンネル上に位置する3箇所の取水ダムならびに三朝調整池を利用して発電を行っている。各取水設備の概要は以下の通りである。

名称	小鹿川 取水ダム	丹戸谷川 取水ダム	岡谷川 取水ダム	本谷川 取水ダム	三朝調整池 ダム
流域面積	24.16km ²	0.82km ²	1.45km ²	0.90km ²	—
最大取水量	2.60m ³ /s	0.076m ³ /s	0.135m ³ /s	0.084m ³ /s	—
種類	溢流型コンクリート	溢流型コンクリート	溢流型コンクリート	溢流型コンクリート	土堰堤
頂長	30.20m	10.09m	15.60m	9.00m	13.00m
高さ	3.00m	3.26m	2.30m	2.30m	3.50m
可動堰種別	—	—	—	—	—
可動堰 大きさ及び数	—	—	—	—	—
可動堰 捲揚機	—	—	—	—	—
土砂吐水門	幅1.40m、高1.50m スルースゲート	—	幅0.80m、高0.50m スルースゲート	幅1.05m、高さ0.30m	—
土砂吐水門捲揚機	電動機側操作	—	—	角落し	—
計画洪水量	239.39m ³ /s	25.40m ³ /s	1.51m ³ /s	9.30m ³ /s	2.90m ³ /s

(1) 対象3施設概要

②小鹿第二発電所

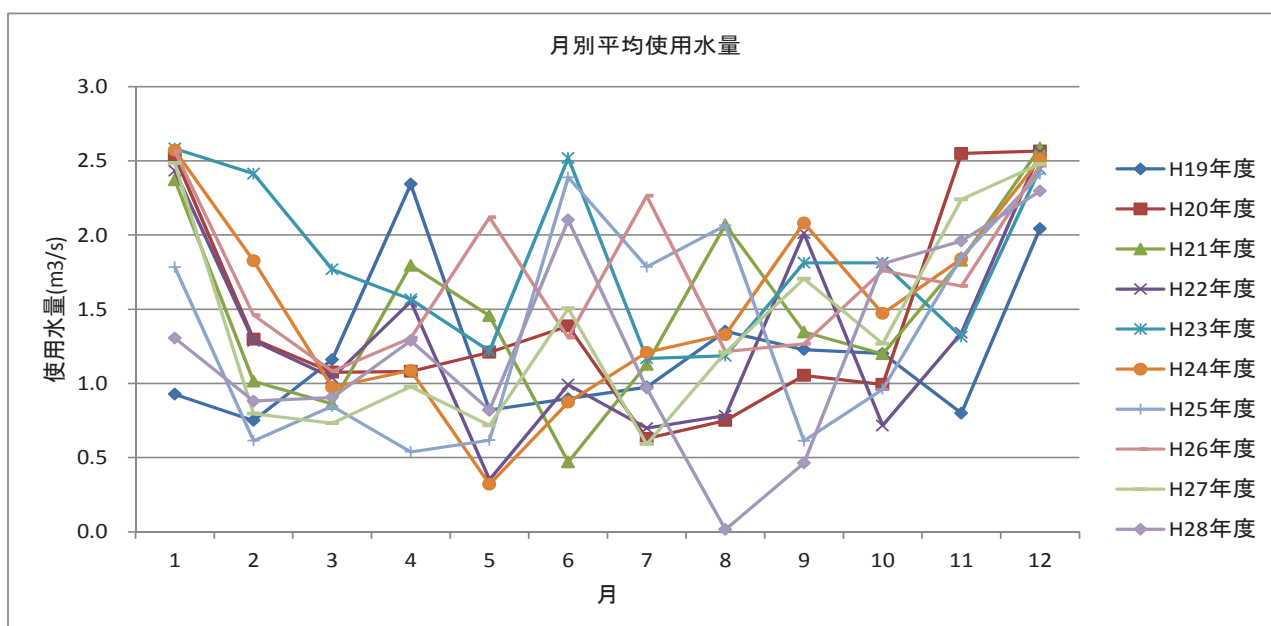
月別平均流入量 (三朝調整池)



(1) 対象3施設概要

②小鹿第二発電所

月別平均使用水量 (小鹿第二発電所)



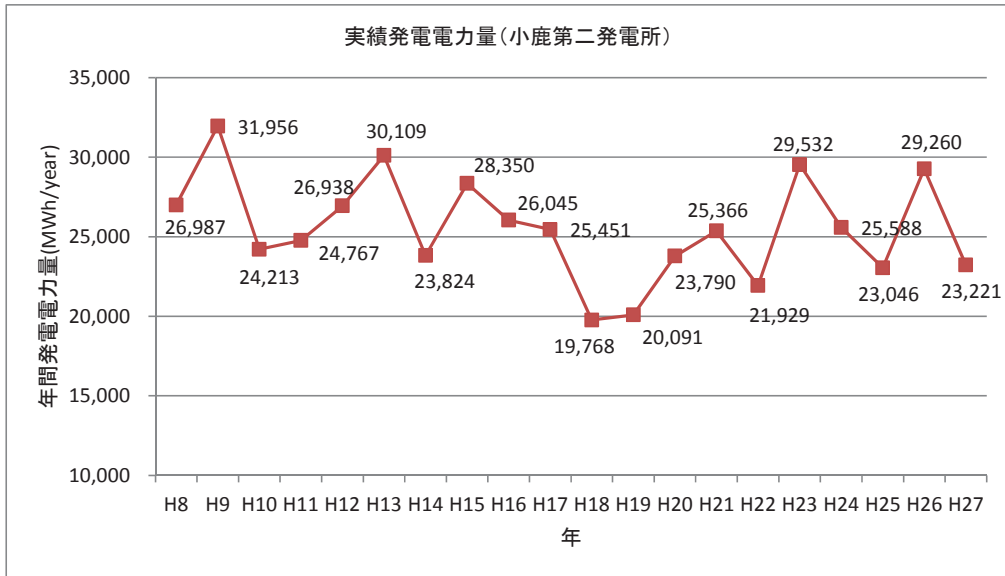
(1) 対象3施設概要

②小鹿第二発電所

■発電実績

小鹿第二発電所の過去20年間の実績発電電力量及び受給電力量を以下に示す。これより、小鹿第二発電所は実績発電電力量で平均25,512MWh/年、受給電力量で平均25,098MWh/年の発電実績を有する。

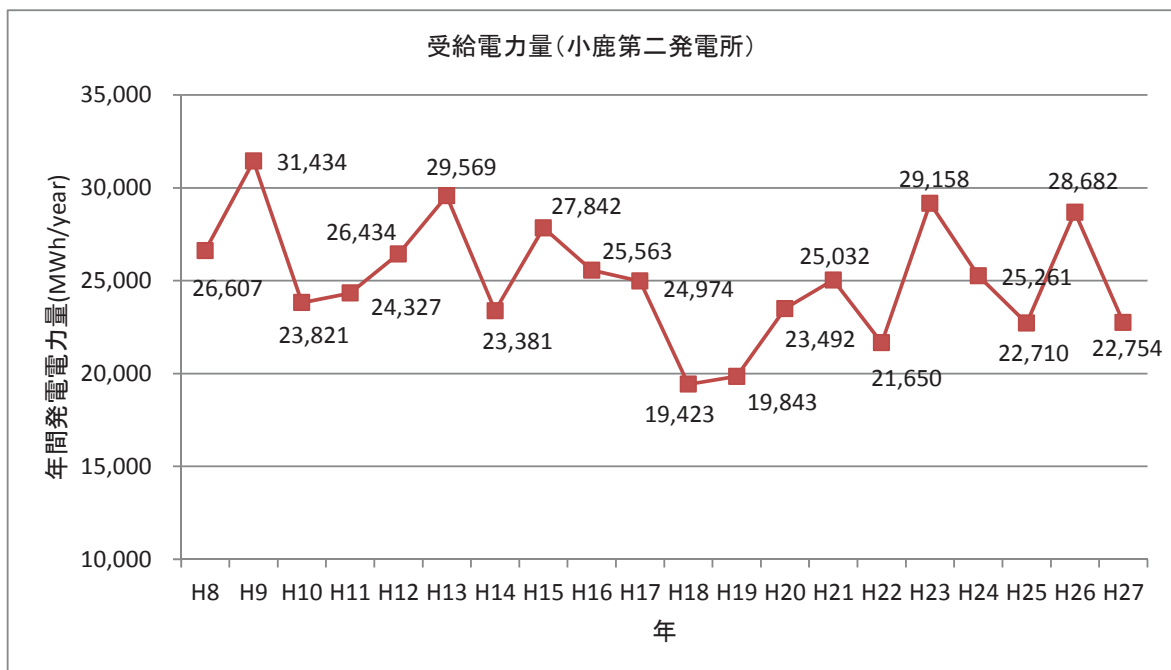
実績発電電力量



(1) 対象3施設概要

②小鹿第二発電所

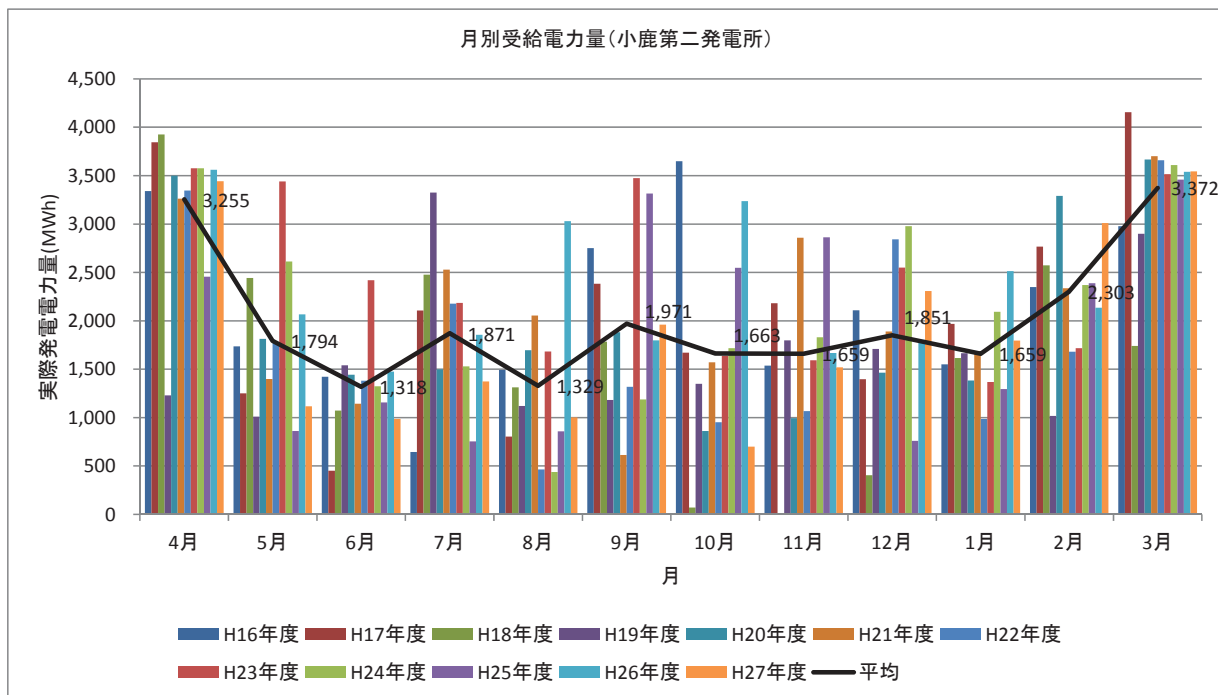
受給電力量



(1) 対象3施設概要

②小鹿第二発電所

月別受給電力量



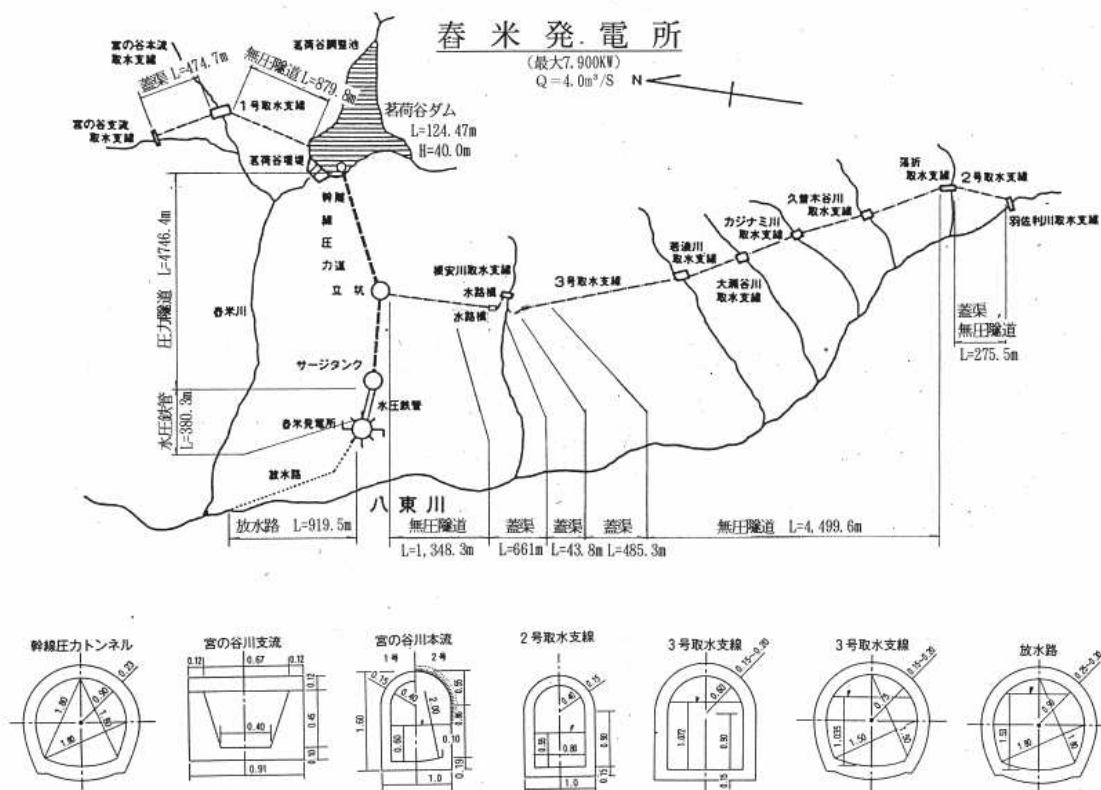
(1) 対象3施設概要

③春米発電所 施設位置図



(1) 対象3施設概要

③春米発電所 施設概要図



37

(1) 対象3施設概要

③春米発電所

項目	内容
最大出力	7,900 kW
運転開始時期	昭和35年12月
発電所形式 水車形式	ダム水路式 フランス式水車立軸 単輪単流渦巻型
最大使用水量	4.0m ³ /s
可能発電電力量	32,736MW h
売電電力量 (平成28年度実績)	32,095MW h
電力収入 (平成28年度実績 概算値)	332百万円
設備利用率 (平成28年度実績)	47.3%
ランニングコスト (平成29年度見込み 概算値)	—



名称	茗荷谷 (みょうがだに) ダム
管理者	鳥取県企業局
目的用途	発電専用ダム

※ランニングコストに減価償却費、除却損、売却損、過年度修正損、支払利息は含まれない
 ※問題なく発電していたときの発電量に、故障など事故で停電した際の流況などを考慮して正常に発電していたと想定する発電電力量(溢水電力量)を加えたもの
 ※現在リプレース計画実施中

38

(1) 対象3施設概要

③春米発電所

■ 利水状況・水系及びダム関係

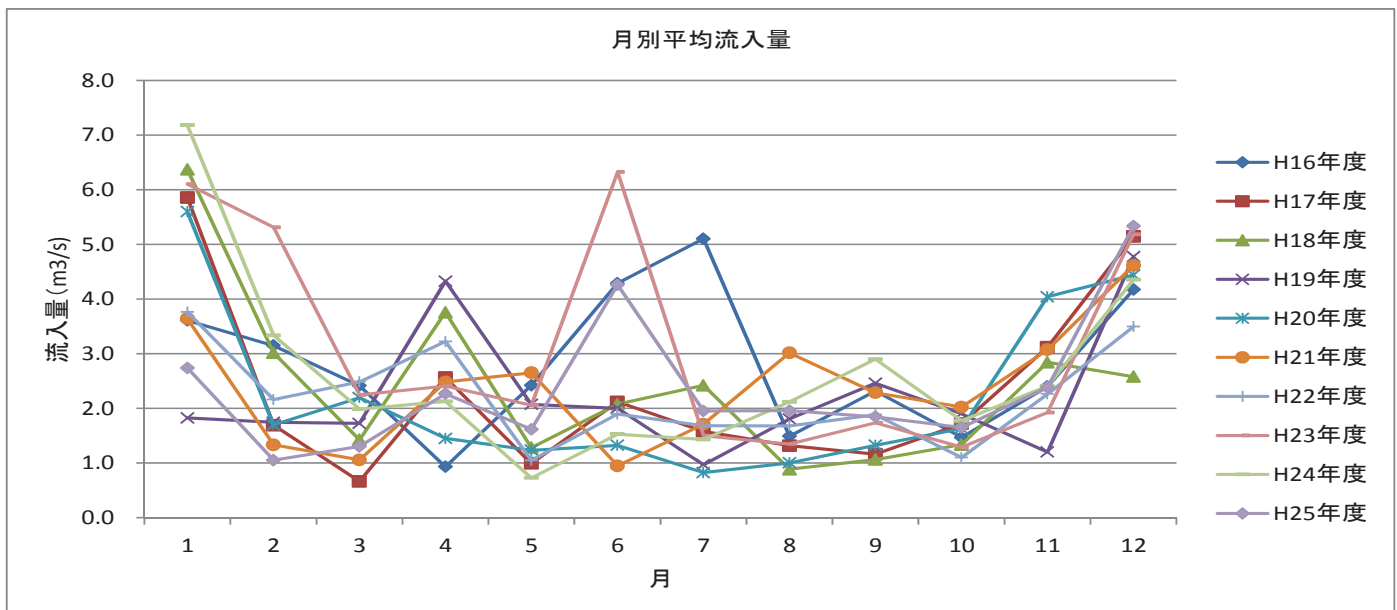
春米発電所は、春米川に設置された茗荷谷ダムの他に9箇所の取水設備を有している。各取水設備の概要は以下の通りである。

名称	茗荷谷ダム	宮の谷支流取水ダム	宮の谷本流取水ダム	羽佐利川取水ダム	八東川取水ダム	久曾木谷川取水ダム	カジナミ川取水ダム	大瀬谷川取水ダム	若浪川取水ダム	根安川取水ダム
流域面積	17.37km ²	1.78km ²	3.20km ²	7.17km ²	10.60km ²	3.37km ²	0.96km ²	2.88km ²	1.48km ²	1.73km ²
最大取水量	4.00m ³ /s	0.122m ³ /s	0.34m ³ /s	0.488m ³ /s	1.209m ³ /s	0.229m ³ /s	0.0653m ³ /s	0.196m ³ /s	0.101m ³ /s	0.118m ³ /s
種類	重力式コンクリート	溢流型コンクリート	溢流型コンクリート	-	溢流型コンクリート	溢流型コンクリート	溢流型コンクリート	溢流型コンクリート	溢流型コンクリート	溢流型コンクリート
頂長	124.47m	9.80m	8.70m	-	19.50m	12.30m	9.00m	11.00m	7.00m	9.00m
高さ	40.00m	1.30m	5.00m	-	2.50m	2.00m	2.50m	1.40m	4.55m	1.50m
可動堰種別	鋼板製テンターゲート	-	-	-	-	-	-	-	-	-
可動堰 大きさ及び数	横 5.50m 高 3.50m 2門	-	-	-	-	-	-	-	-	-
可動堰 捲揚機	ワイヤー捲込電動機側 操作、遠隔操作及び手 動直接操作	-	-	-	-	-	-	-	-	-
土砂吐水門	-	木製角落し	鋼製角落し	-	スルースゲート	スルースゲート	木製角落し	木製角落し	スルースゲート	鋼製角落し
土砂吐水門捲揚機	-	-	-	-	スピンドル手動式	スピンドル手動式	-	-	スピンドル手動式	-
計画洪水量	126.00m ³ /s	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(1) 対象3施設概要

③春米発電所

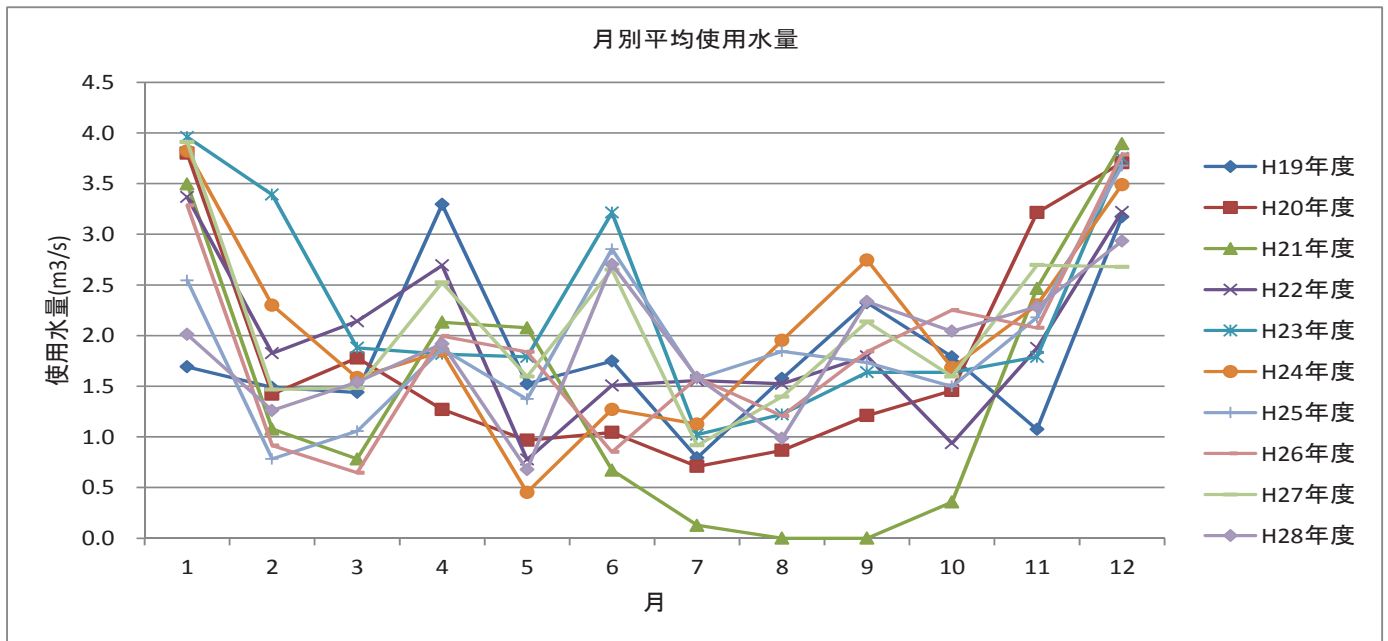
月別平均流入量（茗荷谷ダム）



(1) 対象3施設概要

③春米発電所

月別平均使用水量（春米発電所）



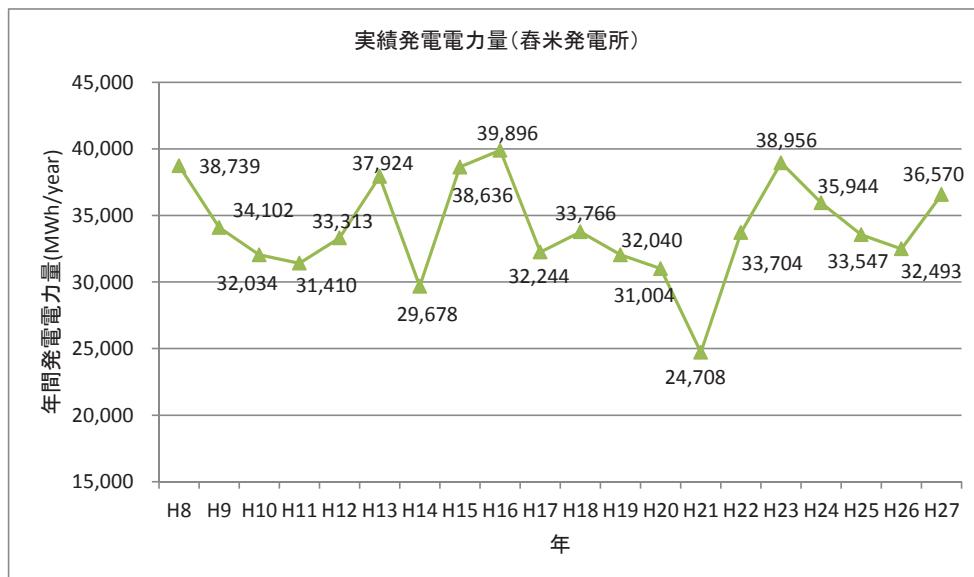
(1) 対象3施設概要

③春米発電所

■ 発電実績

春米発電所の過去20年間の実績発電電力量及び受給電力量を以下に示す。これより、春米発電所は実績発電電力量で平均34,035MWh/年、受給電力量で平均33,712MWh/年の発電実績を有する。

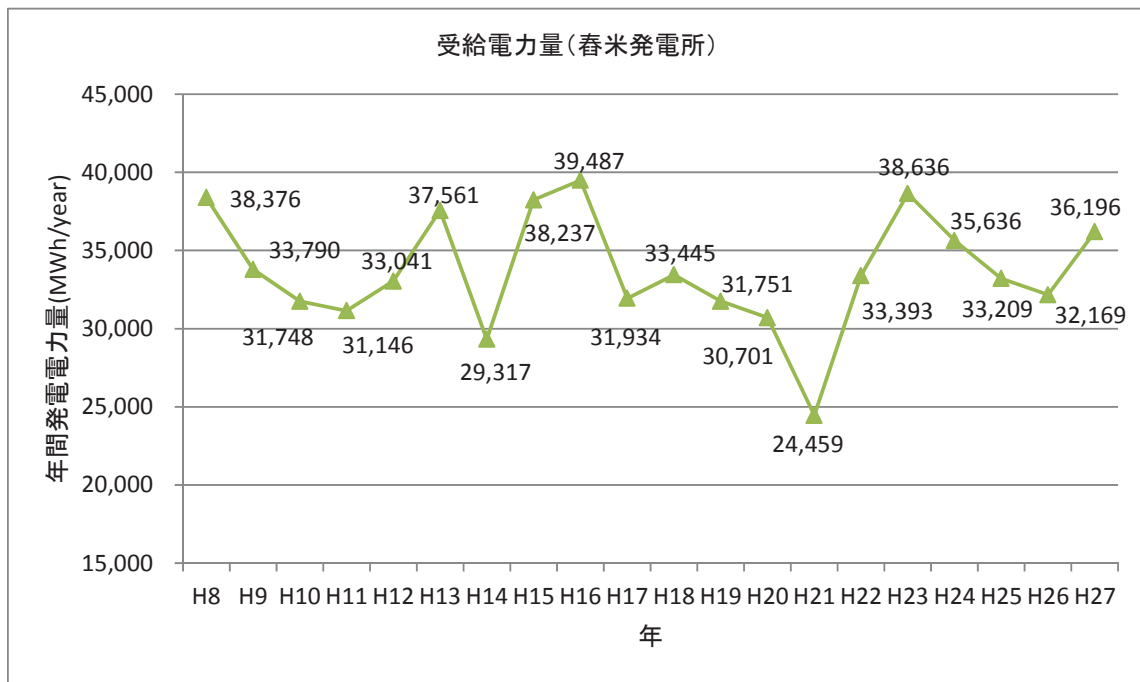
実績発電電力量



(1) 対象3施設概要

③春米発電所

受電電力量



(1) 対象3施設概要

③春米発電所

月別受給電力量

